

1 年次前期・必修

1 単位・30 時間

【概要・目的】

本科目は、保健看護学が保健や医療のみならず高齢者や障害者に関わる福祉とのつながりを深めながら、その人を中心に専門家と連携し、健康上の相談や助言、教育指導に関わり、生活を支えていくという広い視野の中にあることを学ぶ。

また、看護の本質や看護の独自性について学ぶ。看護の歴史的経緯をふまえ、看護学を構築する重要概念を理解する。

【到達目標】

- 1) 保健看護の考え方が理解できる。
 - 2) 看護に関わる歴史的事象をふまえて、生活と健康、社会と看護とのつながりを学び、看護の役割拡大について理解できる。
 - 3) 看護学を構築する4つの主要概念を学び、人間の生活と健康との関連を説明できる。
 - 4) 看護学における基本的概念と看護倫理を理解し、看護の本質が理解できる。
-

【内容・スケジュール】

- 1) 保健看護について
 - 2) ～3) 看護概念の変遷
 - 4) ～5) 看護の主要概念
 - 6) ～7) 看護の本質1 (看護の定義)
 - 8) ～10) 看護の本質2 (ケアリング)
 - 11) ～12) 看護の本質3 (看護の歴史、文化ケア)
 - 13) 看護倫理
 - 14) 看護職者の教育とキャリア開発
 - 15) まとめ
-

【評価】

筆記試験 (70%)、レポート (20%)、グループワーク等の参加状況 (10%)

評価責任者：水田真由美

【教科書】

日本看護協会監修「2022 年度版 看護者の基本的責務」日本看護協会出版会
茂野香おる他「系統看護学講座 1 看護学概論 第 17 版」医学書院 2020

【推薦参考図書】

F. ナイチンゲール「看護覚え書 (対訳)」うぶすな書院 1998

V. ヘンダーソン「看護の基本となるもの」日本看護協会出版会 2016

その他随時紹介する

【その他】